



飯田高校だより

第57号
令和4年(2022年)
12月27日
長野県飯田高等学校
教務係・学校評価委員会

「飯田高校だより」は、学校評価に関わる学校の情報を、保護者の皆様に出るだけわかりやすくお伝えすることを目的に年3回発行いたします。今号では7月末から年末までの様子をお伝えします。また、1学年対象の生徒アンケートの結果と、学校評価については、各分野の「中間評価」をお知らせいたします。

サッカー日本代表が強豪のドイツ・スペインを撃破し、ベスト16進出を果たしたカタールワールドカップも終了し、まもなく「激動」の2022年もあとわずか終わろうとしています。本校では、2学年の修学旅行をはじめ、多くの行事が実施され、生徒諸君の努力と成長が感じられる時期でもありました。今後もさらなる若い力の可能性が期待されるところです。そうした生徒諸君の活躍の様子を振り返りたいと思います。



【全校行事】

秋季クラスマッチ 10/4(火) 5(水)

第3回定期考査を終え、コロナ感染状況も落ち着いてきたことから、予定通り二日間にわたって実施することができました。

爽やかな秋晴れの下、バスケットボール、バレーボール、バドミントン、卓球、ソフトテニス、サッカーのどの競技においても白熱したゲームが繰り広げられました。

コロナ対策のため、応援にも制限がありましたが、クラスが丸となって戦い、一喜一憂する姿がとても印象的でした。



留学生のレイ君とサッカー

3年生にとっては、最後の学校行事でしたが、受験に向けての英気を養い、気持ちを切り替えることができたのではないかと思います。



閉会式の一コマ

	1学年	2学年	3学年
1位	1年 A 組	2年 B 組	3年 F 組
2位	1年 E 組	2年 A 組	3年 D 組
3位	1年 B 組	2年 D 組	3年 A 組

(1学年は2クラス同率1位)

授業公開・教育懇談会 10/21(金)

5月に続き、今年度2回目の授業公開を実施することができました。多くの保護者の皆さんと中学生が来校されました。



生徒大会 10/24(月)

1・2年生の生徒が大体育館に集まり、新体制による生徒大会が開催されました。事前に質問を受け付け、応答するという工夫など、スムーズに進行できました。しばらくコロナ禍での活動が続くかと思われていますが、自分たちで何が出来るかを考え、自主自立の精神で活動してもらいたいと思います。

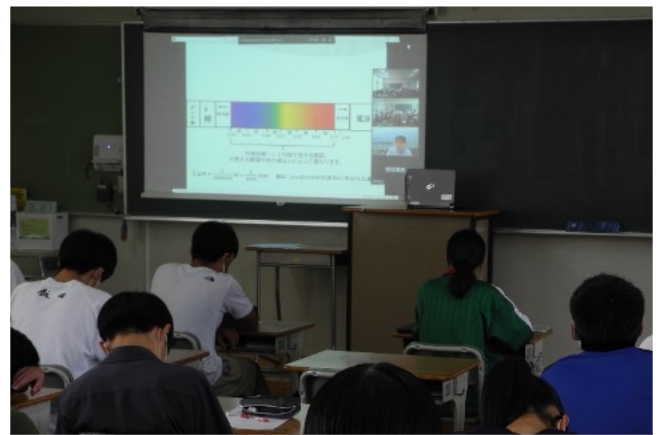


新生徒会自治長 2C 片桐 空翔 さん(中)
新副会長 2B 相澤 春花 さん(右)
2C 原 悠仁 さん(左)

【各学年の行事】

1・2年 大学模擬講義 9/1(金)

今年度もオンラインで大学のその分野の専門の先生方に依頼をして文系5講座、理系4講座、医療系3講座の合計12講座の模擬講義を実施しました。「病原細菌学」や『戦争と社会』研究からロシア・ウクライナ戦争を考える」などタイムリーな講義に生徒は真剣に聞き入っていました。大学を身近に感じることが出来る行事は生徒の大きな経験となりました。



3学年 受験対策



3学年では、大学入試に向けて様々な対策講座を実施しました。7月16日(土)には河合塾より講師を招いて、数学ⅠA・ⅡB、英語、数学Ⅲの3講座の難関大対策講座を実施。8月17日(水)・18日(木)には、教育・看護系ワークショップ、9月16日(金)には信州予備学校から講師を招いて、文系、理系、医学部医学科の3講座で信大入試研究会を実施しました。

現在は、共通テスト対策として特編授業が実施されていますが、皆集中して取り組む姿が見られています。コロナに留意しながら体調を整え、それぞれの進路実現に向けて全力を尽くしてほしいと思います。

人権平和学習 10月20日(木) LHR

今年度は『ロシア軍のウクライナ侵攻』の問題を通じて、「前線に立たない自由とは」を主題とし、「平和について」そして「戦争と人権について」考える機会としました。私たちの日常生活が一瞬にして失われてしまう「戦争」について、また学校生活における人権問題や「高松92宣言」についても改めて確認をする時間となりました。

学校が安心して安全な場所であることが、そこで生活する生徒諸君の力を十分に伸ばすことのできる「環境」であることを私たちは忘れずにいたいと思います。



2学年修学旅行 12/6(火)~8(木)



天候にも恵まれ、充実した3日間を過ごすことができました。九州と大阪・京都を観光し、それぞれの土地の自然や文化に触れてきました。この旅が高校生活のよい思い出のひとつになることを願います。



1学年 社会人講話 12/8(木)



地元で働く方々にお願いをして医療・工業・金融・裁判官等12の講座を設定し「職業観」や「地元で働く意義」についてお話をいただきました。実際に対面で話を聞くことができ、生徒も積極的に質問をして活発な対話が生まれました。今後の進路選択に大きく役立つと思います。



【理数科の行事】

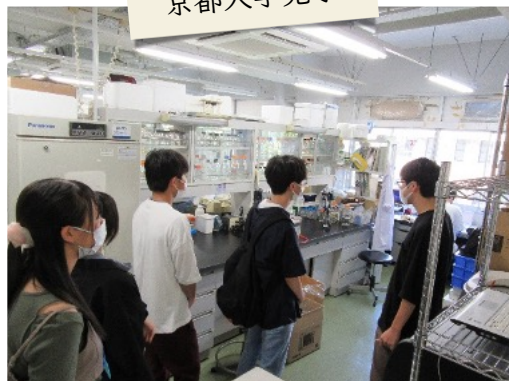
1学年理数科校外研修 11/10(木) 大鹿村巡見



1年理数科は「大鹿村中央構造線博物館」「大西公園」「安康露頭」を巡見してきました。関東から九州まで続く長大な断層である中央構造線が大鹿村を通っています。

安康露頭では、内帯と外帯の岩石の違いを観察したり、岩石を実際に手に取るなど、教室では味わえない貴重な体験ができました。天気にも恵まれ、紅葉も美しく、素晴らしい一日を過ごすことができました。

京都大学見学



2年理数科 京都大学見学・科学の甲子園予選会

8月29日に1年理数科と合同で京都大学の見学に行き、実際の研究施設の見学やキャンパスの雰囲気を経験してきました。

科学の甲子園



また、11月13日に科学の甲子園長野県予選会に参加しました。

理科4分野(物化生地)、数学、地学の計6分野での筆記競技と実技競技の総合点で全国大会の出場者を決めます。本校は2チーム出場し、内1チームが準優勝しました。ひとつの課題に向かって協力して解決していく姿はまさに青春そのものでした。

総合研究大学院大学の大学院生による授業 11/14(月) および交流会11/15(火)

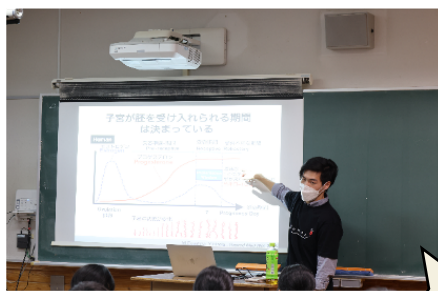
1・2年理数科生徒および普通科希望生徒を対象に、「未知への挑戦 ～若手が語る最先端研究～」と題した、大学院生による授業を行いました。総合研究大学院大学とは大学院博士課程のみを置く国立大学で、学生は将来の研究者を目指して全国各地の国の最先端研究

施設で研究に取り組んでいます。そんな大学院生が飯田高校生のために、自分の研究や進路選択について熱く語ってくれました。



理数科生徒との交流会

翌日は理数科生徒との交流会を行い、課題研究や進路選択に向けてのアドバイス等もいただきました。



『哺乳類の胚発生～母親の子宮内では何が起きている？～』
自然科学研究機構・基礎生物学研究所 櫻井 隼さんの講座

【令和4年度(2022年度) 生徒アンケート結果】

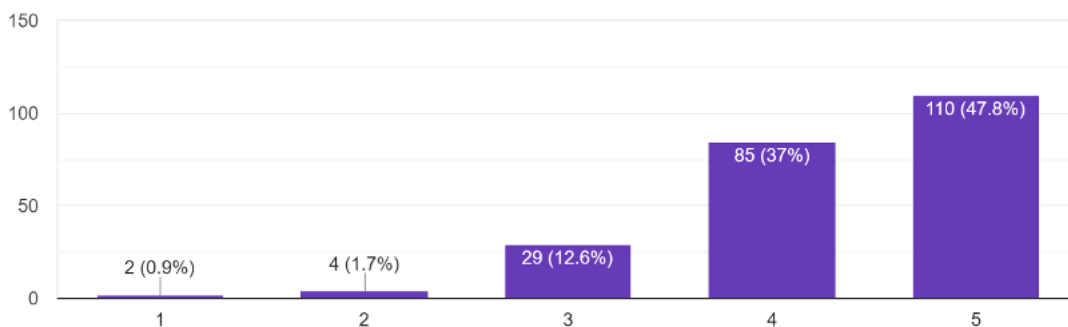
生徒の問題意識や意見を把握し、今後の指導方法の参考とするために生徒にアンケートを実施しています。以下、今年度実施分からの抜粋を掲載いたします。各質問に対して以下の5項目の中から答えてもらいました。

5. あてはまる 4. ややあてはまる 3. どちらでもない 2. ややあてはまらない 1. あてはまらない

1 飯田高校に入学してよかったと思う

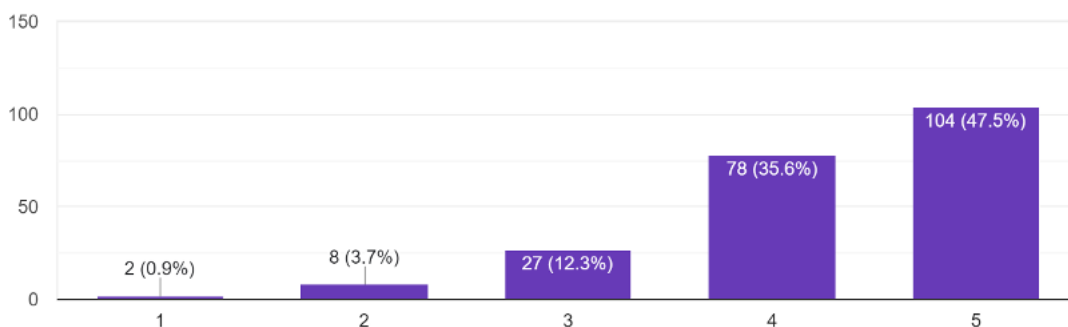
230 件の回答

1年



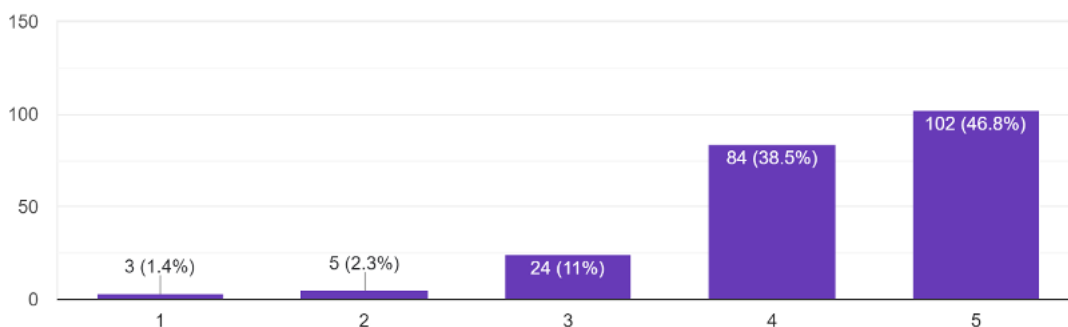
219 件の回答

2年



218 件の回答

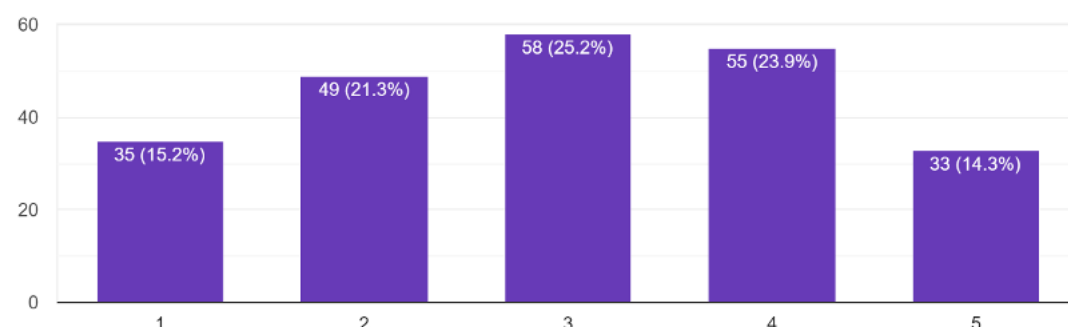
3年



2 家庭学習は毎日できている

230 件の回答

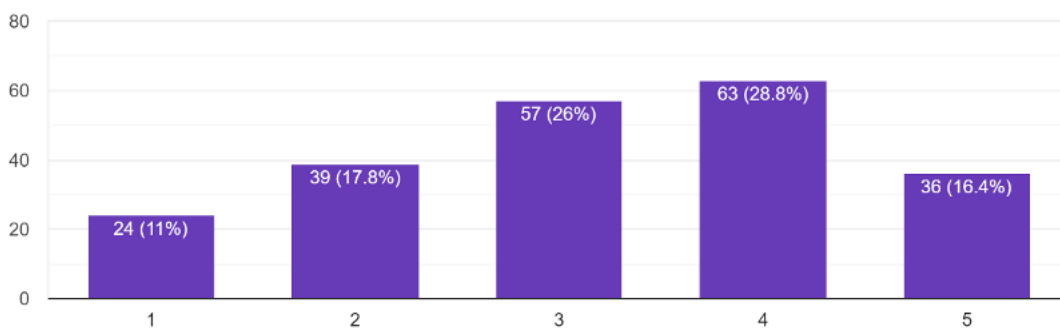
1年



2 家庭学習は毎日できている

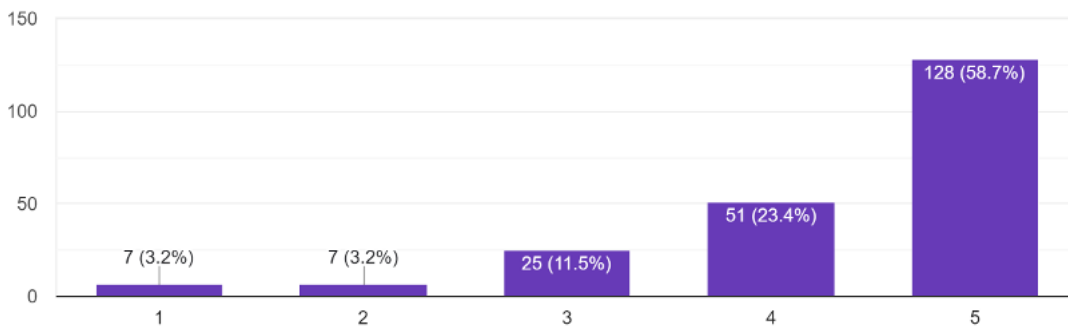
219 件の回答

2年



218 件の回答

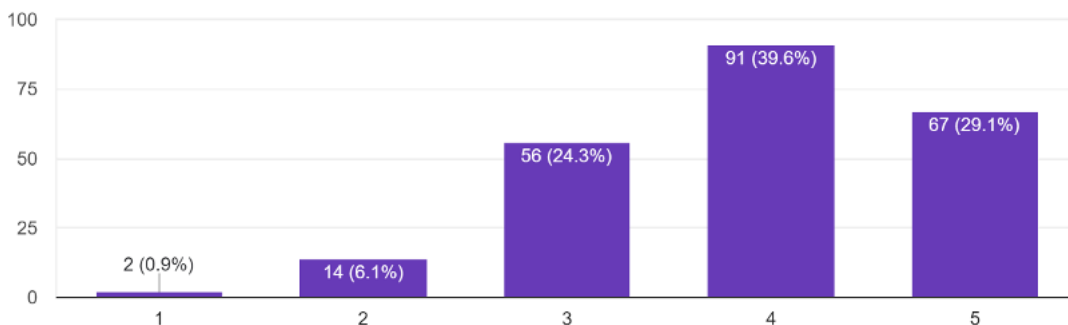
3年



3 飯田高校の日々の授業について満足している

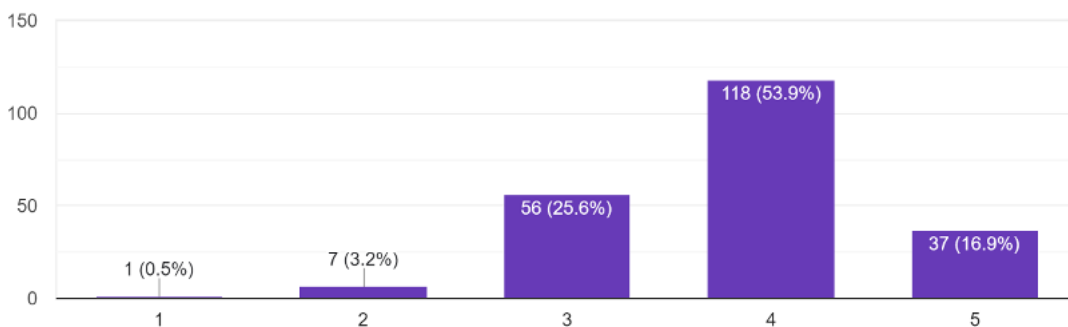
230 件の回答

1年



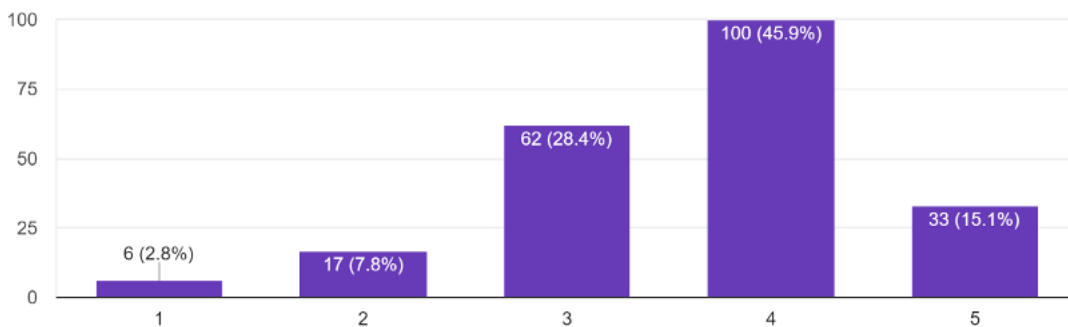
219 件の回答

2年



218 件の回答

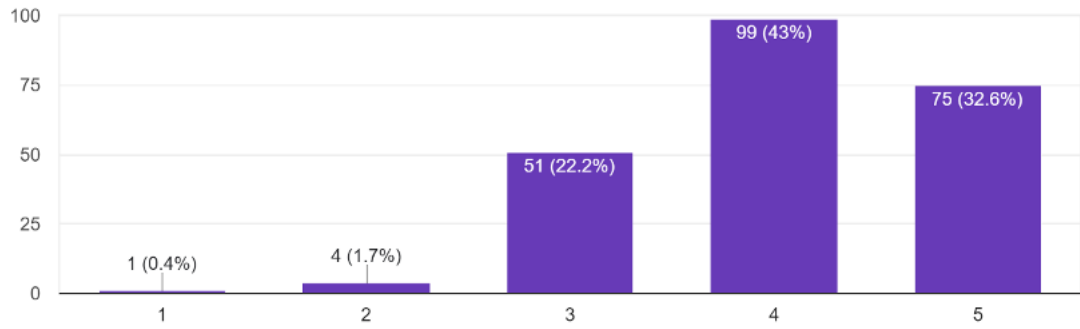
3年



4 進路関係の情報が適切に提供されていると思う

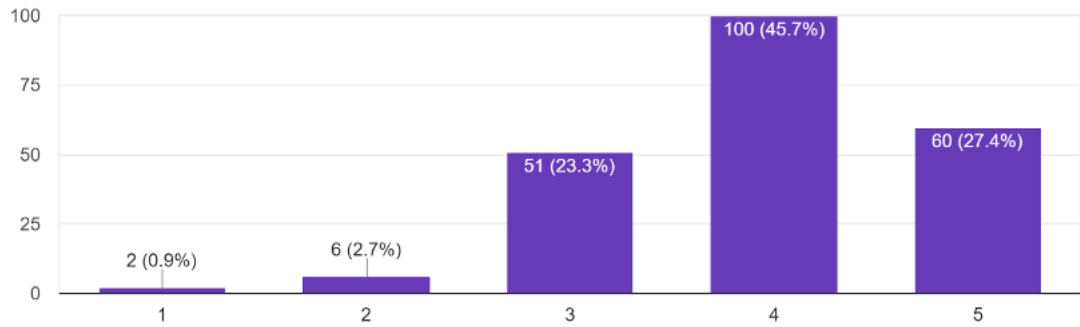
230件の回答

1年



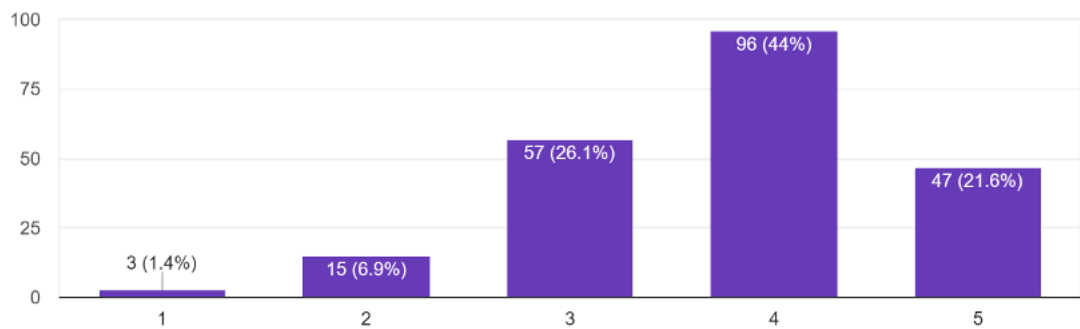
219件の回答

2年



218件の回答

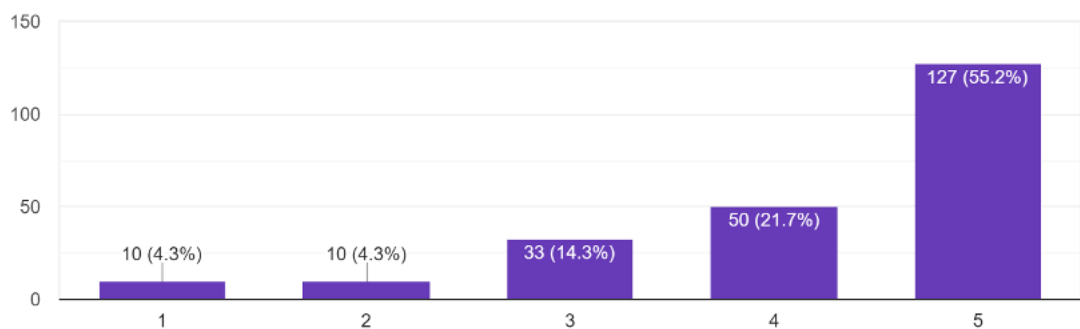
3年



5 クラブ(班) 活動に参加してよかったと思う

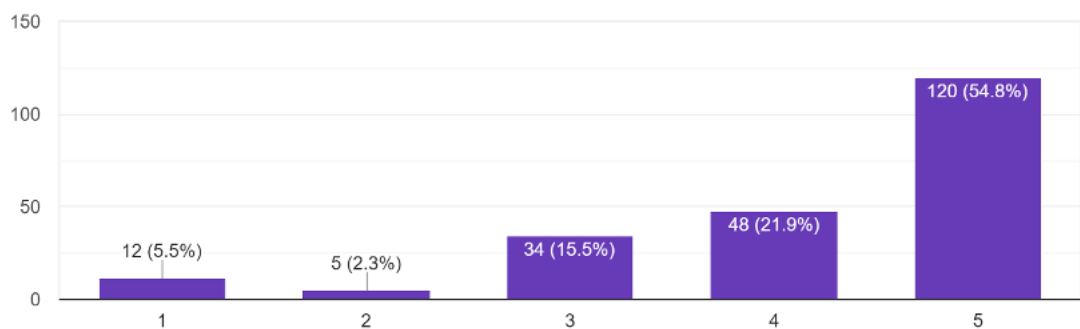
230件の回答

1年



219件の回答

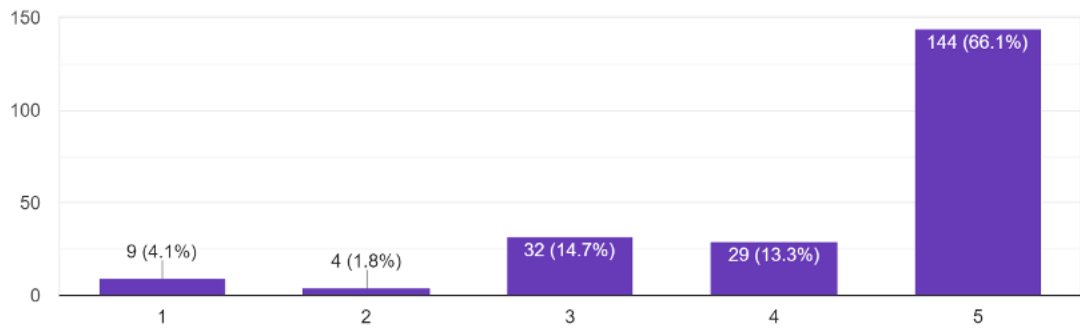
2年



5 クラブ(班) 活動に参加してよかったと思う

218 件の回答

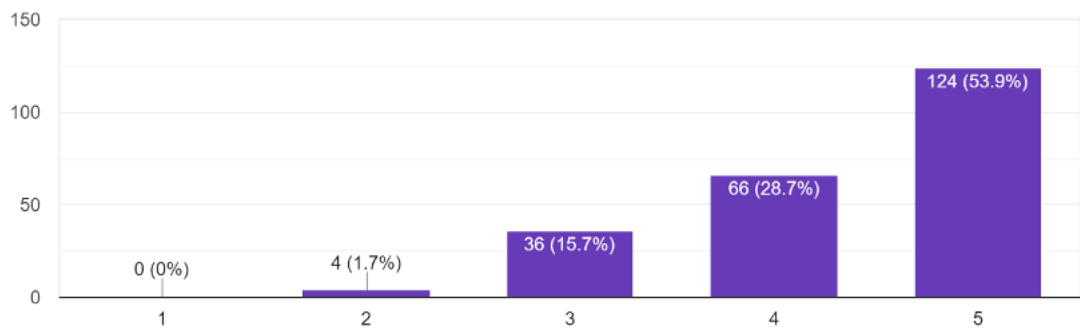
3年



6 安心して学校生活が送れている

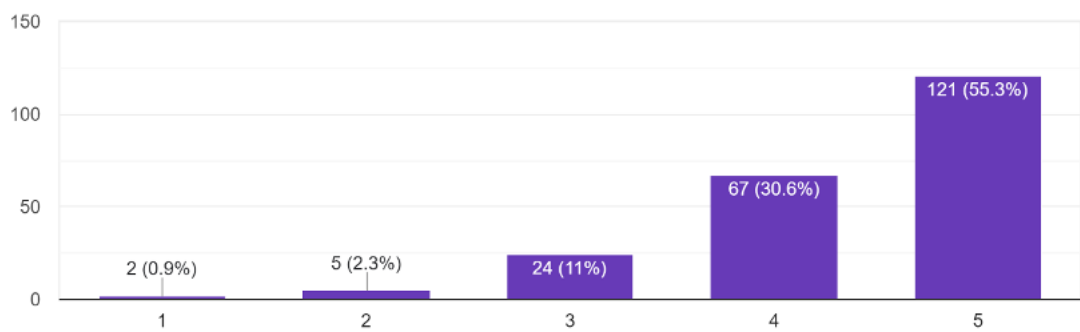
230 件の回答

1年



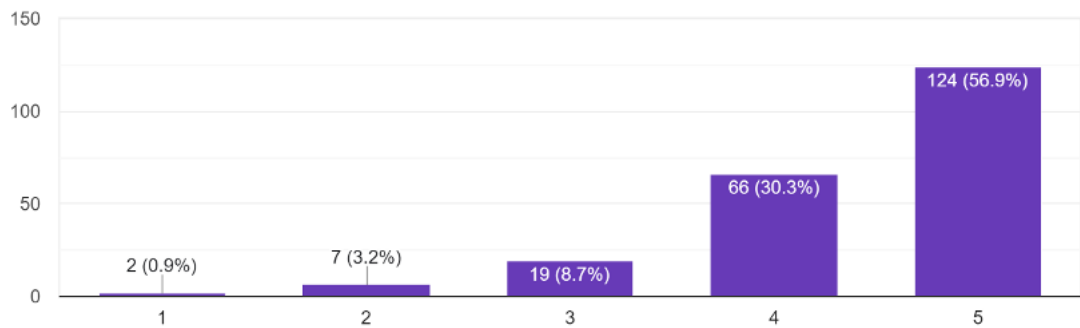
219 件の回答

2年



218 件の回答

3年



【令和4年度 学校評価表の目標達成のための重点事業(中間評価)】

学校評価委員会

部署	令和4年度 目標達成のための重点事業	改善点・提言(令和4年度)
教務・庶務・防災	保護者・地域への的確な情報発信	<ul style="list-style-type: none"> ・これまでと同様定期的な学校便りの発行等で情報の発信に努めることができた。HPの更新頻度については改善を目指したい。 ・校内各分掌との連絡や連携に心を致し、これまで以上に円滑な学校運営を心がけた。 ・オンラインでの会議開催を試みて、一定の評価を得ている。 ・時期や意識の向上に心がけながら適切な防災訓練ができた。
	組織として円滑な学校運営	
	職員間での適切な情報の共有の推進	
	防災訓練の実施と工夫、防災教育の充実	
情報ネットワーク	情報ネットワークの更新管理	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍によるオンライン授業やハイブリッド授業の実施に向けた機器の準備や、実施方法の策定に取り組み、一定の成果をあげている。継続性のある実施方法の確立を引き続き模索していきたい。 ・次年度に向けた1人1台端末導入の在り方について、過去2年の実績を振り返りつつ、より持続可能性の高い調達方法および活用方法について検討を進めている。 ・GIGAスクール構想に伴い導入された多数の機器が散逸しがちであり、適切な管理の在り方について検討が必要である。
	校内LAN・普通科PC教室についての環境整備	
	個人情報について、適切なデータ管理を徹底する(アクセス制限など)	
	職員間の情報共有に関して、イントラの充実をすすめる	
授業計画	学習効果を高める時間割編成の研究	<ul style="list-style-type: none"> ・特編授業、3年テスト返却もバランスを考えて計画できた。 ・科目選択、講座編成については引き続き研究が必要である。
	考査・特編の計画・実施	
	科目選択及び講座編成の工夫	
進路指導	進路通信・学年進路通信の発行、模試結果の分析	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナ禍の中ではあるが、オンライン活用による、各学年の進路行事・模試の運営、信州大学説明会、大学模擬講義、信大入試研究会、総研大大学院生の授業等の行事を、ほぼ計画通り進めることができています。 ・進路通信を時宜に応じて発行し、生徒への情報提供や進路意識の向上を図っている。各学年でも、模試・探究学習・学習指導等多岐にわたる内容を進路通信で伝えている。 ・前年度の入試結果・最新の入試動向などの資料を、学校評議員会・同窓会・PTA等に提供した。 ・第3回目となる「大学入学共通テスト」に向けて、情報を発信しながら出願・確認作業を進めている。 ・進路検討会議に課題であるが、共通テスト後の出願検討会は例年通り実施していきたい。
	進路情報の提供	
	進路検討会議の実施	
	地区懇談会への資料提供	
	キャリア教育全般	
学習指導	学習計画の立案と実施 シラバスの作成	<ul style="list-style-type: none"> ・過去問(小論文、面接用)の需要が増している。市販のものでは不十分なので、受験した生徒の問題冊子を集めるなど対策が必要か。 ・3年生希望者対象小論文講演会(9月24日 松本大学予備学校・中曽根先生)73名が参加した。 ・学習室は毎日清掃時に机の消毒を行っている。平均して、朝は15人、放課後は25人前後が利用している。 ・人権平和学習は11月に実施。 ・その他についてはほぼ計画通りに実施してきている。
	小論文指導	
	補習計画	
	総合的な探究の時間	
	人権平和学習(10月)	
	学習室・自習室の環境整備	
	生徒による授業評価の実施と分析	
	授業公開・研究授業などの立案・計画	

図書視聴覚	日常および学校行事での放送協力	<ul style="list-style-type: none"> ・各分担ごとに、着実に計画通り進んでいる。探究学習や進路に関する情報など、必要な時に適切な資料を提供できるよう心掛けている。
	図書通信の発行	
	各学年・係と連携した情報提供	
	小論文・面接などの資料提供	
生活指導	安心・安全な学校づくり	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度から同一生徒による問題行動の繰り返しがあるが、該当生徒を継続して見守り、ここまで来ている。それ以外は、定期の不正使用、SNSトラブルの2件で、該当生徒は猛省しており再発の可能性はないであろう。 ・自転車事故は減少しているものの、一歩間違えば命に関わるケースが2件あった。現場である校門の停止線・ミラー設置をお願いした。
	基本的な生活習慣の確立	
	情報の共有と指導体制の確立	
生徒会指導	高松92宣言の遵守	<ul style="list-style-type: none"> ・高松祭は家族限定で公開した。また、感染防止対策を徹底して行った。ファイヤーストームは実施方法を工夫して今までの方法とは別の形で実施した。 ・ウクライナの方との交流会、飯田市議会議員とのタウンミーティングなど新たに企画を運営し活性化を図った。 ・各委員長を含めた役員会を行い、活動状況を互いに把握するとともに積極的に委員会の活動が展開されるよう工夫した。
	高松祭などの行事の運営	
	委員会活動の活発化	
	班活動の活発化	
教育相談	アンケートによるニーズの把握と問題の発見及び予防	<ul style="list-style-type: none"> ・悩みアンケートおよび学校環境適応感尺度「アセス」は一定の役割を果たしていると思われる。係会や教科担当者会等を通じて、生徒の情報共有や合理的配慮についての理解を深め、生徒・保護者に丁寧に関わり、SC・SSWと連携しつつ遺漏のない支援及び環境整備を図っていきたい。
	生徒・保護者の支援及び環境整備	
保健衛生	生徒・職員の健康管理	<ul style="list-style-type: none"> ・コロナの影響で課題は多いが、引き続き安全面に配慮しながら、生徒、職員の健康状態を見守っていきたい。
	学校安全の徹底	
美化	全校生徒の美化・環境意識の向上	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス感染症対策として個人のゴミの持ち帰りに全校で取り組んでいる。今年度は自治会主催の班室清掃を定期的に行い、班室のゴミも教室と同じく持ち帰るよう呼び掛けた。今後も持ち帰る意義を理解してもらい、継続につなげたい。
P T A	学校と保護者の連携	<ul style="list-style-type: none"> ・昨年度はコロナ対策の一環として、5月の総会が中止となりましたが、今年度は対策を十分にとり実施することができた。しかしながら、各地区懇談会、研修旅行は実施を見送った。 ・10月の教育懇談会、学年PTA行事は、感染予防対策を徹底しながら授業公開と合わせて実施することができた。
行政	校舎内外の環境整備の推進	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルスの感染対策として、一部男子トイレ小便器の自動洗浄化、一部トイレ照明の人感センサー設置、消毒液の購入等を行い、感染予防に努めた。また、学校施設の修繕、樹木の剪定・伐採等限られた予算の中、環境整備に努めた。 ・コピー用紙の削減、使用していない教室等の消灯や冷暖房の適切な使用を呼びかけた。 ・窓口対応や電話対応等、親切・丁寧な対応に努めた。
	エコマネジメント長野への取組推進	
	来校者等への親切・丁寧な対応	

1学年	iPadの活用と家庭学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 県教育委員会の指導の下、iPadを全員購入し、各種アンケート調査・週一の英単語テスト・探究活動調査・各授業での資料提示及び課題提出等多岐にわたる分野で、情報ツールとして活用している。コロナ渦での新入生として、感染対策に気を付けつつも、「明るく、元気に」高校生活が送れるように各担任が努力を続けている。学習面では、英数国の小テストを学習の軸として、各クラスが学習に向けて頑張る雰囲気が醸成された。東館の清掃も例年以上の取り組みが見られ、明るく清潔な環境で学習できている。
	挨拶・清掃など基本的な生活習慣の確立	
	いじめ・暴力などに対する人権感覚の育成	
2学年	家庭学習習慣の確立	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入学時に購入したiPadを用い、朝の健康チェック・英単語テスト・授業での活用・探究学習の資料作成と発表・オンライン授業など様々な活動を通し、自らの進路探究を行っている。また、定期試験や模試を通じ、やる気を引き出すような指導を心掛けている。 ・ 学年全体として、「素直」で「誠実」、「学校行事に全力で取り組む」姿勢が先生方から評価されており、この雰囲気を学年後半も維持できるよう、保護者の皆様の協力を仰ぎつつ努めていきたい。
	挨拶・清掃など基本的な生活習慣の確立	
	いじめ・暴力などに対する人権感覚の育成	
	保護者との信頼関係の確立	
3学年	目標目的を重視した志望の進路実現	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本人、保護者と丁寧な懇談を心掛け、共通認識の下で適切な進路選択ができるよう心掛けた。大学入試制度変更3年目でまだまだ不安要素が多い中、最新情報を入手し着実に進路指導ができるよう留意した。クラブ活動の大会や生徒会の行事等は大方が復活実施されたが、コロナ禍による分断で引継ぎもなく最上級生になった生徒たちの気持ちに寄り添い、目標に向かえるよう配慮して指導した。18歳選挙権についても意識をさせ行使するよう指導した。最終学年として、各個人においても、また、集団としても、心身ともに逞しく成長するよう指導を継続していきたい。
	社会性・協働性の育成	
	生徒保護者と学校の連携	

【班活動 各種大会結果】 ※紙面の都合上、抜粋して掲載します。

文化系

吹奏楽 全日本吹奏楽連盟主催 吹奏楽コンクール(7月) A編成 県大会 金賞
 中部日本吹奏楽連盟主催 中部日本吹奏楽コンクール 県大会(9月) 銀賞

邦楽 長野県高等学校邦楽フェスティバル 優秀賞 (県大会2位)

競技かるた 全国総文祭長野県選抜チーム(団体)出場
 3D 三浦優鈴 3C 近藤陽向 3A 熊谷真子 3E 熊谷凜香
 長野県高等学校新人かるた大会(団体戦) 3位
 第32回 北信越高等学校かるた選手権大会 長野県選抜チーム出場
 2B 榎原理月

運動系(新人大会)

空手 女子 団体組手 2A 田中 絵梨 1C後藤真悠 ⇒ 北信越大会出場
 男子 個人形 2C 前本 柊 県大会3位 ⇒ 北信越大会出場

水泳 1D 山崎 大輝 50m・100m背泳ぎ 県大会2位

陸上 2A 山田 隼輔 男子3000m 障害 第8位 ⇒ 北信越大会出場
 2B 後澤 香菜 女子やり投げ 第4位 ⇒ 北信越大会出場

ラグビー 3B 林 健斗 第15回U18全国高等学校合同チーム東西対抗戦
 (東日本選抜選手として出場)

(日時) 令和5年 1月5日(木) 11:00 KO

(会場) 東大阪市花園ラグビー場 第1グラウンド



○ コロナ禍での大会実施となりましたが、生徒諸君に練習の成果を発揮する場所が戻ってきたことは大会結果以上に大切なことだと改めて感じる場面でもありました。新年度に向けてさらなる精進に期待しています。

【 悩み相談窓口 … 一人で悩まないで相談しましょう 】

★LINE 相談窓口「ひとりで悩まないで@長野」

○定期相談 毎週水曜日(18時~21時)

友だち追加用URL <https://lin.ee/nB0SaYu>



★学校生活相談センター

電話:0120-0-78310

メール:gakko-sidan@pref.nagano.lg.jp

★子ども支援センター(月~金10:00~18:00)

子ども用:0800-800-8035(無料)

大人用:026-225-9330

メール:kodomo-shien@pref.nagano.lg.jp